

【樹木の部屋】

クリノデンドロン・フッケリアヌム

(ホルトノキ科クリノデンドロン属 (Crinodendron hookerianum)

和名： 別名：ランタンツリー 英名：Chile Lantern tree

カタバミ目 常緑低木 原産地：チリ

花言葉：献身、永遠の愛 花の色：赤



← 写真-1 クリノデンドロン・フッケリアヌム

撮影日：2008年5月28日

撮影場所：ボドナントガーデン
(北ウェールズ・ギリス)にて

撮影者：M さん

北ウェールズのコンウェイにあるボドナントガーデンを訪れたとき、広大な庭園の一角に咲いてました。帰国後、調べてみると、クリノデンドロン・フッケリアヌムでした。

チリからアルゼンチンに分布する小さな常緑樹です。クリノデンドロン属はただ2種しかないそうです。幹は直立して高さは3～9mほどになり、枝は大きく広がります。葉は披針形で光沢があり、縁が外側に丸まります。晩春から初夏にかけて、長い花茎の先に、濃い赤色のランタンのような壺形の花を下垂して咲かせます。

欧米では鑑賞用に栽培されているようですが、日本では、馴染みの少ない植物だそうです。

< ちょっと一言 >

*ボドナントガーデン

・北ウェールズのコンウェイにある、ナショナルトラストが管理するイギリス式庭園です。キングサリのトンネルに人気があるようです。ロンドンからは遠いので、近くに宿泊してウェールズ北部の観光地とあわせて訪問するのが一般的のようです。

*キングサリ

学名：Laburnum anagyroides(マメ科 キングサリ属)
和名：キングサリ(金鎖)



キングサリのトンネル

撮影日：2008年5月28日

撮影場所：ボドナントガーデンにて

撮影者：M さん